

青少年しまね

平成24年(2012)3月
No. 93

[発行元]青少年育成島根県民会議 / 〒690-8501 松江市殿町1 青少年家庭課内 / TEL(0852)22-6255 / FAX(0852)22-6045 / ホームページ:http://www.shimane-youth.gr.jp/

少年の主張島根県大会 島根県少年弁論大会

主催：青少年育成島根県民会議 / 島根県中学校長会 / 大田市中学校長会



平成23年9月22日(木)
サンレディー大田にて
県内18名の発表者と
審査員のみなさま

平成23年9月9日(金)
出雲市民会館 大ホールにて
「フォーラムに一生懸命取
組み、楽しい一時を過ごす
事ができました。」



メールマガジンを発行しています。
ご希望の方は、メールアドレスをお知らせください。

青少年育成島根県民会議メールアドレス

nobinobi@shimane-youth.gr.jp

目次 CONTENTS

- 「少年の主張島根県大会」について P2・3
- 「知事と語ろう！高校生フォーラム」について P4
- 「島根県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会」について P5
- 「青少年育成関係者総合研修会」について P6
- 子ども支援センター等の「相談受付窓口」について P6
- 「しまね家庭の日」・「地域力向上」モデル活動支援事業について P7
- 「ことのは大賞」審査結果/会員募集/お知らせ P8

青少年の心を育てるキャンペーン



できることから、大人から。



少年の主張島根県大会

平成23年9月22日(木)に大田市のサンレディー大田で開催した「少年の主張島根県大会」も今年で40回を迎えました。島根県中学校長会、大田市中学校長会の協力を得て開催しました。

この主張は、中学生が日頃、学校や日常生活の中で感じたことやさまざまな社会での出来事を通じて考えたことを主張するものです。

今年度、島根県知事賞を受賞した、雲南市立木次中学校1年 黒見信輔さんは、東京で開催された「少年の主張全国大会～わたしの主張2011」では、奨励賞を受賞しました。

島根県知事賞

「僕にとっての東日本大震災」

雲南市立木次中学校 1年 黒見^{くろみ} 信輔^{しんすけ}

「好きなもの」「夢中可以れるもの」と聞かれたら、僕は迷わず、「柔道」と答えます。まだ弱いですが、部活動が楽しみな毎日です。そんな僕は、最近ようやく「強くなりたい」と思うようになりました。

僕は父の影響もあり、小学校1年生で柔道を始めました。そのころの僕は、体格がよく、大会ではよく勝っていました。ですが、高学年になるとだんだん負けることが多くなり、負けることに抵抗がなくなり、悔し涙を流すこともなくなっていきました。特別に勝つための努力をすることもなく、なんとなく柔道を続けていました。そして小学校もそろそろ卒業!という、3月11日、そのできごとは起こりました。

「東日本大震災」

僕はその映像を見て言葉が出ませんでした。何もかもなくなった街、全てを飲み込んでいく津波、大事な方をなくした人々、そして原発。僕は毎日の報道の中で、悲しみと同時に「怖い」という感情を抱くようになりました。でも、怖いながらも新聞を開いてみると、そこには命をかけて行方不明者の捜索をする自衛官の方々、最後まで市役所から人々の避難をうながしなくなられた市役所の方、海岸までパトカーを走らせ、人々を手助けし亡くなられた警察官の方、そんな方のことが数え切れないほど書かれてありました。それを読んでいるうちに涙が出てきました。同時に、昔抱いていたある気持ちがわき上がってきました。それは「人の役に立てるような人のために命を懸けることができるような人間になりたい。」という思い、特に「そういう使命を持っている警察官になりたい。」という思いです。

「警察官」それは僕の小さな頃からのあこがれで

した。父も含め親戚に警察官が多かったからでしょう。でもそれはただのあこがれに過ぎず、しかも少しずつ薄れてきていました。それが3月11日のあとには、「将来自分がなる職業だ」という気持ちに変わりました。

震災で大事な人を亡くした方の映像を見ながら、僕の前で父も泣いていました。警察官はこのような場所に派遣されることもあります。父は「派遣されて役に立ちたい。」という言葉も口にしていました。そんな姿も目にして僕の思いは新たになりました。「警察官となり人々を守るために強くなりたい。」

まずは、礼儀を重んじ、「精力善用・自他共栄」の精神を持つ柔道で強くなりたい。柔道への思いが深まりました。

それから3ヶ月後の6月7日、市総体がありました。僕は55kg以下級に出場しました。結果は2位でした。負けた瞬間、僕は久しぶりに人目も気にせず泣きました。とにかく泣きました。それはきっと「強くなりたい」という僕の心がそうさせたんだと思います。

東日本大震災は僕を一周りも二周りも成長させてくれました。けれども、被災者の方々には深い傷痕を残しました。その方々の生活を0から作り上げていくことがこれからの必須事項です。それには膨大な費用と年月がかかります。そして多くの人力が必要となるでしょう。僕は少しでもそのお手伝いをさせていただきたいと思います。いつか来るその日のために、今は心身共に鍛えておかなければなりません。今僕は毎日毎日一生懸命に生き、柔道や勉強をがんばっています。この世に生かされていることに感謝し、柔道の精神を忘れず、人のために生き、人のために命を懸けることのできる人間になることを目指して、一直線にがんばります。

平成23年度「少年の主張島根県大会」審査結果

※優秀賞は発表順

賞名	演題	地区	学校名	学年	氏名
島根県知事賞	僕にとっての東日本大震災	雲南	雲南市立木次中学校	1	くろみしんすけ 黒見信輔
島根県教育委員会教育長賞	思いつき投げたい	松江	松江市立島根中学校	2	おすかたい 小須賀大樹
島根県警察本部長賞	じいちゃんからのメッセージ	鹿足	津和野町立日原中学校	3	いしかわ 石川もえ 萌
青少年育成島根県民会議会長賞	ユニバーサルデザインの心	松江	松江市立第三中学校	2	あらかき 荒木さくら
審査員特別賞	大きなナメクジ	邑智	美郷町立大和中学校	2	なかはらあきひろ 中原文章寛
//	ふるさとを守る	大田	大田市立北三瓶中学校	3	こばやし 小林たか 孝央
優秀賞	母からの手紙	斐川	斐川町立斐川西中学校	3	もりい 森井はる 晴香
//	他人の気持ち	益田	益田市立美都中学校	3	すみで 澄出ひ 妃菜
//	命～生きるということ～	飯石	飯南町立赤来中学校	2	なかやまこう 中山高樹
//	弟が教えてくれたもの	安来	安来市立広瀬中学校	3	いけだ 池田な 奈穂
//	今、私にできること	浜田	浜田市立弥栄中学校	2	こまつばら 小松原ゆう 優花
//	「わたし」	出雲	出雲市立第三中学校	3	いしはら 石原はる 遥夏
//	未来のつり人のために	大田	大田市立第三中学校	1	たけま 武間とも 智也
//	伝えること	出雲	出雲市立河南中学校	3	かつべ 勝部み 未鈴
//	新発見	隠岐	隠岐の島町立西郷中学校	3	みずの 水野あ 亜美
//	小さな言葉	益田	益田市立西南中学校	2	したもり 下森わか 若菜
//	次の涙は	仁多	奥出雲町立仁多中学校	3	たなか 田中ま 麻貴
//	つながり	江津	江津市立江津中学校	3	さかもと 坂本ま 真優

審査員

山陰中央新報社特別論説委員

浜田教育事務所指導主事

島根県警察本部少年女性対策課課長補佐

前田幸二

羽柴千晴

三浦洋子

島根県小学校長会理事

島根県子ども会連合会会長

大田市PTA連合会母親委員長

大田市青少年育成市民会議会長

茅島誠

磯田謙一

竹下祐美

和田良一

「知事と語ろう! 高校生フォーラム」を 開催しました

～ 9月9日(金) 出雲市民会館大ホール ～

今年で3回目となる「知事と語ろう! 高校生フォーラム」を、県公立高等学校長協会、県私立高等学校長会の協力を得て、出雲市にて開催しました。当日は、約1000名の来場者を迎え、学校や地域における活動発表や、溝口善兵衛島根県知事と高校生によるパネルディスカッションなどを、高校生が主体となって行いました。

ディスカッションの最初のテーマは「リア充」について。「リア充」とは、インターネットやゲームなどのバーチャルな世界においてではなく、現実の生活(リアル)が充実していることを指す言葉です。パネリストの高校生からは、部活動や生徒会活動、また、地域の清掃活動や市民オーケストラなどを通して、友人や上・下級生、地域の方々と強いつながりができ、そのつながりこそが「リア充」だという意見が出ました。

現在、島根県が取り組んでいる「古事記編纂1300年」事業のテーマでも、高校生から様々なアイデアが出されました。名所旧跡をめぐる「古事記ツアー」、高校生が出演する「テレビドラマ」、子どもも楽しめる「やまたのおろち退治ゲーム」、古代食をテーマにした「B級グランプリ」など。また、「伝統芸能の石見神楽と古事記に関わる歌をコラボ」というアイデアを発表した高校生は、自らバイオリンでイメージした曲を披露してくれました!

知事は、高校生のアイデアに感心されるとともに、高校生が地域で活動することは、その地域にとって大きな刺激になり、高校生自身にとってもいい経験になるのでどんどんやってほしい、と期待を込めて話されました。

閉会後に集計したアンケートには、「同じ高校生の発表や意見を聞いてエネルギーをもらった。」「自分も故郷の力になりたい。」「多くの経験を積んで今後アクティブな高校生になろうと思った。」というコメントがたくさん書いてありました。

フォーラムに参加したすべての高校生が、フォーラムをきっかけにして、今まで以上に学校や地域、そして島根県を活性化してくれることを期待しています。



(写真: 知事による開会宣言の様子)



(写真: パネルディスカッションの様子)

これらの事業は会員、賛助会員の

「島根県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会」について



全国の定時制通信制高等学校に学ぶ生徒のみなさんが、学校生活を通じて感じたことや学んだ貴重な体験を発表し、多くの人々に感動と勇気を与えています。今年度の県大会は10月14日(金)に県立宍道高等学校で開催され、県高等学校定時制通信制教育振興会、県高等学校定時制通信制高等学校長会、県高等学校定時制通信制教頭・副校長会の主催で、今年度で59回目を迎えました。島根県大会で最優秀賞第一位に輝いた若槻 舞さんは、青少年育成島根県民会議会長賞を受賞されました。また、全国大会へ出場し、文部科学省初等中等局長賞を受賞されました。青少年育成島根県民会議では、この大会を後援し、発表者のみなさんを応援しています。

生きる意味

島根県立宍道高等学校通信制課程 2年 ^{わかつき} ^{まい} 若槻 舞

「私は生きていますか？この世に存在していますか？」

そう、誰かに聞きたい時が私にはありました。中学生になった時、新しい学校、新しいクラス、皆と仲良くなる事に疑いがなかった私はいつものように過ごしていました。それが、ある日を境に学校で【私】という存在がなくなりました。あまりに突然のことで、私には理解ができませんでした、いや、理解しなくなかったのだと思います。

昨日笑いあっていた友達が返事をしてくれない、視界に入れてくれない、目があっても無かったことのように無視される毎日。気が狂いそうになりました。いっそのこと悪口を言ってくれた方がよかったです。その方が、私は存在していると認識できるのだから。

それから私は【人】というものが怖くなりました、平気で友達を裏切れる人間が。

高校のクラス替えて、中学校の記憶が蘇り人ごみの中にはいられなくなり、家を出ると歩いている人を見るだけで、この人は私の敵、そう無意識に思っている自分がいて、学校ではまわり全てが敵意のこもった目のように見えました。

そんな中で過ごせるわけも無く、過呼吸をおこすことが日常となり、家に引きこもるようになりました。

そんな中私を救ってくれたのは母でした。私の両親は私が高一の時に離婚し、兄も大学生で家を出ているので2人だけの生活、異変に気づくのは早かったです。でも、母は私に同情することはなく、「一緒に頑張ろう」言ったのはそれだけでした。もう泣きすぎて出ないと思っていた涙が自然とあふれたのを覚えています。その涙は今までとは違う暖かい涙でした。

それから、母が調べた病院に通い2人3脚で一年

学校を休学し治療しました。

休学した学校に今更復学する勇気はなく、けれどこのまま諦めたくはない。

そう思っていたら病院の先生に勧められ、この宍道高校の通信制へ転学しました。

知らない人ばかりで最初はすぐにやめたい、そう思っていました。でも、母に「ずっと下を向いてる人と友達になりたいとは思わないよ。」と、喝を入れてもらい、自分から同じ授業の子に話しかけ少しずつ学校に慣れていきました。そんな中、生徒会の役員を募集していると担任の先生から聞き、勇気を出して入りました。入った先はまさに天国。大げさと言われればそれまでですが、私にはそう思えました。最初はやはりとても緊張しましたが、何でも聞いてくれて良いからね。と、優しく声をかけてもらえ、私は内心ほっとしていました。

生徒会の方々と友達になり、一気に視界が広がりました。

それから、中国地方通信制生徒交流会という行事で学校紹介の準備をしたり、出し物では紙芝居をすることになり、そこで私は台本を書かせてもらいました。大丈夫か不安もありましたが、皆が良いと言ってくれ、そこから絵が生まれてきて一つの物を完成させることが久しぶりにできました。ああ、やっぱり友達とこうして冗談を言いあって笑いあったり、話す内容はたわいもないことだけれど、それが私には暖かく思えて、少しずつではあるけれどまた、友達を信じるということができました。

これからも友達を大切にしていこうと思っているのと同時に、今ここに立てているのは母がいてこそなので、感謝して過ごしていこうと思います。

「今生きていますか？」そう質問したかった過去を忘れることはせず、自信をもった自分が生きている意味を少しずつ探しながら歩いていこう、そう思います。

ご支援にて運営されている事業です。

『青少年育成関係者総合研修会』について

青少年育成に関わる各種団体や機関がお互い連携して、島根の将来を担う青少年の育成のあり方について学ぼうと、11月27日(日)に益田駅ビル「EAGA」の益田市立保健センターにおいて、青少年育成島根県民会議及び青少年育成アドバイザー連絡協議会の主催により、「青少年育成関係者総合研修会」を50名の参加を得て開催しました。

当日は、益田市青少年育成市民会議の物心両面によるご協力をいただき、第1部の「子ども・若者育成支援のあり方や実践」に関する講義に続き、第2部は地元益田市から特色ある青少年育成活動の実践事例をご発表いただきました。

手作りの料理が振る舞われた昼食交流をはさんで、午後は少人数のグループに分かれ、青少年の育成に向けた課題や効果のあった取組事例などを熱心に話し合いました。

自然豊かな万葉の里、益田で、日頃それぞれ異なる立場から青少年を支えている人々がお互いの考えや思いを共有したことで、それぞれが青少年育成への気持ちを新たにしたい一日となりました。



県民会議田中副会長あいさつ
(益田市青少年育成市民会議会長)

第2部実践活動例

- 事例1 石見神楽久々茂保存会(発表者/三原 肇充氏)
学校との連携を図った神楽クラブの活動を通じた青少年への地域文化の伝承活動の取組
- 事例2 道川ゆうゆう会(発表者/河本 亮氏)
地域の伝統文化や行事を活かした地域全体で進める青少年育成活動の取組
- 事例3 美濃っ子かるた会(発表者/中島 啓之氏)
青少年のモラルや規範意識の向上を図る公民館での子どもカルタ会の取組

お子様の学校生活や将来のことで不安や悩みを抱えている保護者の方、
お子様ご本人や関係者の方からの相談を受け付けています。

～遠慮なくご相談ください。～

相談受付窓口

松江市青少年支援センター

☎0800-200-2700
[月～金] 9:00～17:00

浜田市青少年サポートセンター

☎0120-783-419
[月～金] 8:30～17:15

出雲市子ども・若者支援センター

☎0120-84-7867
[月～金] 8:30～18:00 / [土] 8:30～17:00
(土曜日は事前予約の面接相談のみ)

益田市子ども・若者支援センター

☎0800-600-4357
[月～金] 8:30～17:00

平成23年度 『「しまね家庭の日」・「地域力向上」モデル活動支援事業』の活動を紹介します

青少年育成島根県民会議では、家族の絆を強め、青少年の健全育成を図ることをねらいに、「しまね家庭の日」(毎月第3日曜日)の普及・啓発に努めています。青少年の「自主的な活動」や「モラルの向上や社会性を育む活動」に加え、大人が「青少年に模範を示すことができるモラル啓発活動」を展開することにより、「大人が変われば、子どもも変わる運動」を推進しています。今年度は、公民館、青少年育成団体等を対象に、『「しまね家庭の日」・「地域力向上」モデル活動支援事業』を実施し、厳正な審査のうえ、13団体に助成しました。

助成団体名	事業内容
湖北中グループ青少年健全育成協議会	「しまね家庭の日」に湖北中学校生徒と校区の地域住民が一体となって校区の環境美化活動を実施し、モラル向上を図った。
乃木子ども福祉会	地域の子どもたちと地域住民が共にリサイクル活動や環境学習に取り組み、交流会を行った。
TEAM VIKING(チームバイキング)	絵本の読み聞かせ等を通して、親子と地域の大人とが交流を図った。
八雲青少年育成の会	「こころのかけ橋運動」を展開し、大人たちと青少年の世代間交流を進め、家庭・地域社会の教育力の向上を図った。
「希望の歌」実行委員会	学校と地域住民が一体となって郷土愛を育むため、ビデオの制作やコンサートを開催した。
神門地区青少年育成協議会	「三瓶青少年交流の家」において、親子とともに地域住民参加型のキャンプを行った。
西山中自治協会	親子、家族を対象に「浴衣の着付け教室」を実施し、伝統文化を通じた交流活動を行った。
大田市立温泉津公民館	「ゆのつ仲良しファミリーデー」(「しまね家庭の日」)に親子活動やコンサートの開催を行った。
安来市立広瀬交流センター	自ら進んで社会に貢献しようとする次世代リーダーの育成を目的として、中学生と地域住民と一緒に企画した「ふるさと祭・ふれあい祭」を開催した。
邑南町子育てフェスタ実行委員会	地域住民が一体となった「子育てフェスティバル」を開催し、様々な体験活動に取り組んだ。
須川子ども会	「しまね家庭の日」に青少年と高齢者が世代間交流と伝承あそび等を行い、親子のふれあい交流活動に取り組んだ。
津和野町立青原公民館	地区住民が一体となった、異世代間交流、地域文化の伝承、環境美化活動等を行い、次世代の育成を図った。
吉賀町中央公民館	「ふるまい標語コンテスト」の実施後、タスキを作成し、あいさつ運動や声かけ運動を展開した。



一畑電鉄朝日ヶ丘駅高架下トンネル壁画製作活動
(湖北中グループ青少年健全育成協議会)



親子コンサートの風景
(大田市立温泉津公民館)



【夕涼み会】での交流会
(安来市立広瀬交流センター)



“地域住民参加型キャンプ”集合写真
(神門地区青少年育成協議会)



“しめ縄作り”で異世代間交流
(須川子ども会・津和野町)



“青原の歴史を学ぶ”見学会
(津和野町立青原公民館)

これらの事業は会員、賛助会員のご支援にて運営されている事業です。

第10回

ことのは 大賞決定



「ことのは」とは、…子育てや子ども、家族に関する楽しさ、うれしさや感動などを、きらりと光るひとことで表した「ことのは(言葉)」です。

※今年度は、全国から6,329点の応募がありました。

早く親元を離れて一人暮らしをしたいという気持ちがある半面、一人でやっていけるかという心配と、一人になってしまうという心配があります。そんな自分の心の思いを表しました。

■一般の部 (優秀賞:3作品 佳作:12作品)

区分	ことのは作品	都道府県	名前
県民会議会長賞	この家から早く出たい とか言ってみた	島根県	古林 歩美
優秀賞	本物の孫の手がある夏休み	東京都	林 善隣
優秀賞	平凡な朝が 毎日くる奇蹟	神奈川県	吉田 誠一

大人は働いたらお金をもらえるのに、僕はお手伝いをしてもおこづかいがもらえなくて悲しい気持ちを表現しました。

■ジュニアの部 (優秀賞:2作品 佳作:3作品)

区分	ことのは作品	都道府県	名前
知事賞	どれだけ手伝っても お金が出ない わが家のシステム	島根県	今浦 康輔
優秀賞	写してもらうために買ったのに 僕しか使えないビデオカメラ	島根県	荒木 大河

■団体の部

島根県立吉賀高等学校 (島根県)
出雲市立光中学校 (島根県) ※2年連続受賞

●詳しくは、HPをご覧ください。

ことのは大賞

検索

会 員 募 集

伸びよう

伸ばそう

青少年

【会 員】 青少年健全育成活動を推進していただく団体又は個人。
総会への参加を通して事業計画の決定に参加できます。

●団体・個人等
年一口:5,000円 (一口以上)

【賛助会員】 青少年育成活動に関心はあるが、参加する機会が少ないため、資金面で支援をいただける、企業、公的機関等の団体。

●団体・企業等
年一口:5,000円 (一口以上)
●個人
年一口:1,000円 (一口以上)

青少年健全育成にあなただの御協力を!!

次世代を担う青少年をたくましく育てる運動を広げるために、県民総ぐるみの青少年健全育成活動を展開しています。会員・賛助会員としてぜひ、加入していただきますようご協力をお願いします。

申 青少年育成島根県民会議
込 TEL: (0852) 22-6255 / FAX: (0852) 22-6045
先 E-mail: nobinobi@shimane-youth.gr.jp

お知らせ INFORMATION

◆平成24年度県民会議総会

日 時:平成24年5月18日(金) 13:15~ 場 所:島根県民会館3F 大会議室

◆少年の主張島根県大会

日 時:平成24年9月25日(火) 10:30~ 場 所:島根県民会館中ホール

◆知事と語ろう! 高校生フォーラム

日 時:平成25年2月8日(金) 13:30~ 場 所:島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール